

輪作体系の確立で若者の通年雇用を実現

～（株）ウイング甘木（福岡県朝倉市）～



（株）ウイング甘木の皆さん

1 組織の概要

組織名称	（株）ウイング甘木
組織形態	農業法人
代表者名	代表取締役 松岡 吉寛
所在地	福岡県朝倉市屋永3196
連絡先	TEL:0946-24-0888 FAX:0946-24-0900
栽培品目	にんじん(12ha)、ばれいしょ(13ha)、ブロッコリー(6ha)、アスパラガス(1ha) 水稲(50ha)、麦(60ha)、大豆(14ha)、
従業員数	役員2名、社員8名、パート6名

2 取組の推移

平成8年	金川機械利用組合と金川カントリーエレベーターを併せ、地区内の4人の構成員で農事組合法人「ウイング甘木」を設立
平成20年	次世代の人材育成、労災・年金等の社会保障の充実や事業の拡大を目的に株式会社へ移行

3 加工・業務用野菜の取組概要

(1)基礎情報

取扱品目	にんじん	ばれいしょ
作付面積	12ha	13ha
出荷量	270t	430t
出荷時期	12月～2月	5月～6月
品種名	黒田五寸	トヨシロ
主な出荷先 (主な用途)	農協(ジュース工場)	カルビー(ポテトチップス)
出荷形態等	フレコン	鉄コンテナ
取引先からのニーズ	青首部分があれば除去すること	40g以上～350g以下のもの

注：作付面積、出荷量は26年度データ

(2) 取り組んだきっかけ

当初はヘリ防除や水稻の農作業受託を主体とした組織であったが、雇用する従業員が通年で働けるように作業時期の異なるアスパラ・ばれいしょ・にんじんなど野菜作に着目。

(3) 取組の特徴

春先のアスパラガス収穫を皮切りに初夏のばれいしょ、水稻の受託作業のほか冬季の加工用にんじんなど通年での輪作体系を構築。

- ①加工用にんじんの収穫はほ場で葉の部分を切断、フレコンに積み込んだ後ほ場近くの調整場で粗洗・調整した後、ジュース工場へ出荷。
- ②農地の貸し手と借り手の信頼関係のもと顔の見える農地集約を行っている。

(4) 関係機関の支援

福岡県の「活力ある高収益型園芸産地育成事業」でにんじん収穫機等を整備。

4 販売先の開拓

- ①にんじんについては、国産ジュース用の需要が多いことから栽培面積の拡大を目指すものの農協出荷を継続予定。
- ②ばれいしょについては、今後ともカルビー向けを継続予定。

5 課題とその対応

- ①ブロックローテーションの関係で毎年異なるほ場に播種するが農地により特性が異なる。そのため必要に応じ土壌改良を行うことで収量の安定化を図る。
- ②にんじん収穫機は2台保有しているが故障することが多く苦慮。極力社内でメンテナンスを行うなど経費節減に努めている。
- ③ほ場が点在しているため作業効率が悪い。農地の利用状況の把握や機械の稼働率を上げるため、地図上で色分けを行うことで「見える化」を行っている。

6 取組成果

従来の稲作・麦作・大豆などの栽培や防除作業受託の他、アスパラガス、ブロッコリーなどの青果用に加え、加工用にんじんや加工用ばれいしょなど加工・業務用野菜を取り扱うことで通年での輪作体系を構築。また、社会保障を充実させることで若年労働者・女性の雇用に結びつき地域の活性化に寄与。

7 今後の展開

加工・業務用野菜についてはより高収入が期待できる品目を模索するとともに「これからの地域農業を支える」ため農地をフル活用。



収穫機



フレコンで洗浄機へ



洗浄後ジュース工場へ